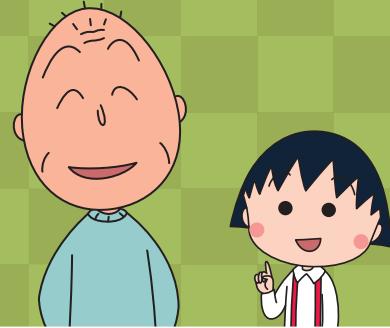


第110期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

- 本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

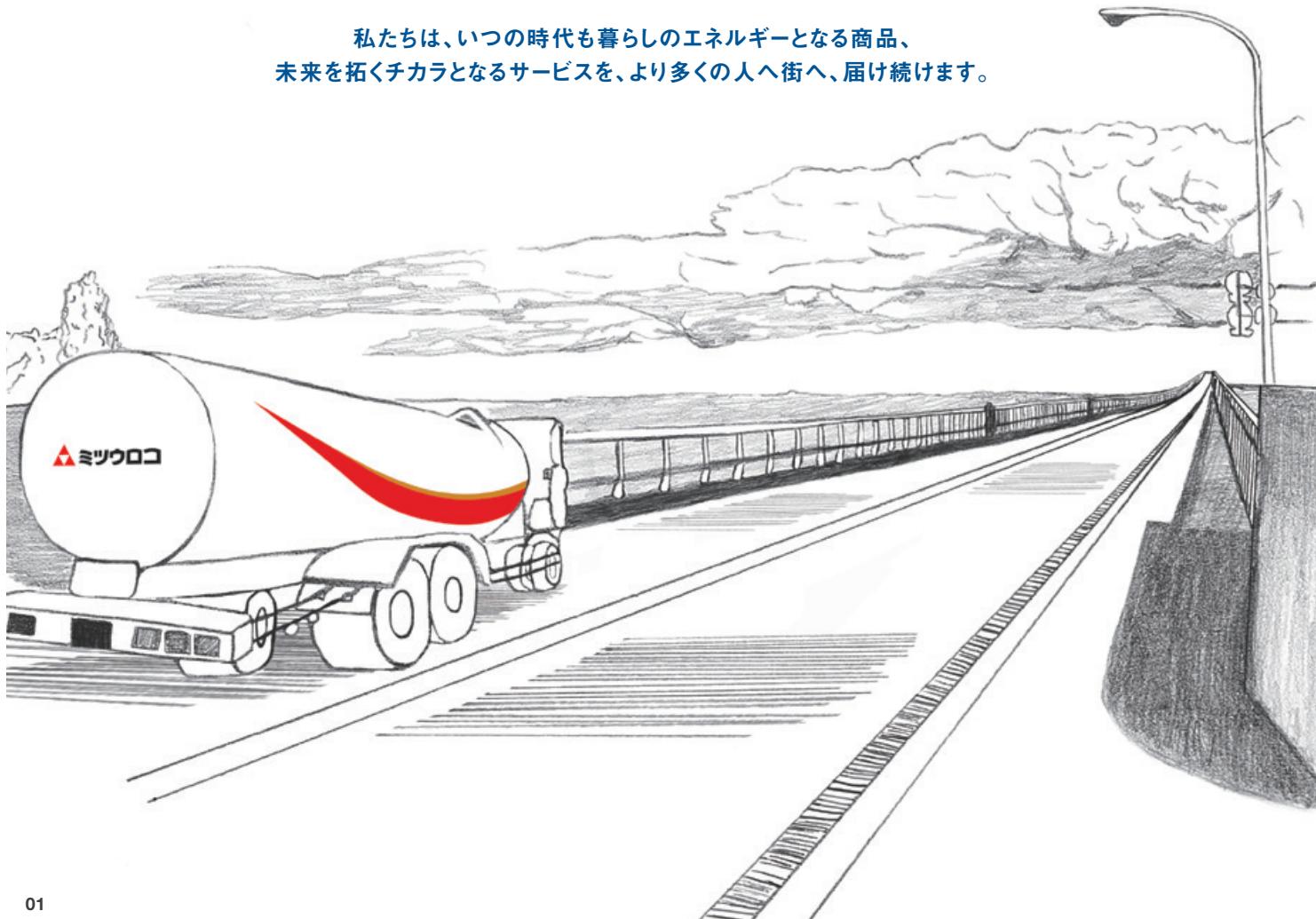


ちびまる子ちゃん 「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
©まぐろプロダクション/日本アニメーション ミツウロコ企業広告CMオンエア中!



感動を、次々と。

私たちは、いつの時代も暮らしのエネルギーとなる商品、
未来を拓くチカラとなるサービスを、より多くの人へ街へ、届け続けます。



エネルギー事業

LPガスを中心に、石油製品、住宅設備機器、通信サービス“ミツウロコ光”、太陽光発電システムなどのインフラ事業を展開しています。



電力事業

風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、CO₂排出削減・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。



フード&プロビジョンズ事業

清涼飲料水の製造・販売、施設内売店およびカフェテリア、バーガーレストランチェーン、ボランタリーチェーンストア、スクラッチベーカーリー・カフェの運営等を手掛けています。



PM/ 健康・スポーツ事業

オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸や、健康・スポーツをテーマとした商業施設の運営を行っています。



その他事業

事業用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業などを行っています。

DATAで見るミツウロコグループ

売上高

2,293億円 第110期連結
2018年4月1日～2019年3月31日

経常利益

45億円 第110期連結
2018年4月1日～2019年3月31日

設立

1926年(創業1886年)

従業員数

1,550名 2019年3月末

エネルギー事業店舗数

78店舗 2019年3月末

フード&プロビジョンズ事業店舗数

285店舗 2019年3月末

再生可能エネルギー発電量/年間

2億5千万kWh

LPガス供給軒数

約80万軒 2019年3月末

企業の持続性と持続的な企業価値の向上を図り、

お客様に新たな価値を提供してまいります



当連結会計年度における我が国の経済情勢は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しの動きが継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら海外経済については、米国の通商政策による貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題、地政学的リスクの高まりなど、景気の下振れリスクが存在し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、人口減少、過疎化といった構造的要因による需要減少の中、電力・ガスの自由化以降、異業種からの活発な新規参入による多様な料金メニューの提供等を通じた競争の活性化が進み、国外展開や、従来のエリアを超えた事業展開、電力・ガスの相互参入、上流下流等の異分野への進出、AI・IoT等を活用したデジタル化への投資など、総合的にエネルギーを取り扱う企業が生まれ、新たな付加価値の創出や消費者への便益創造が期待されています。また、安全性を前提とした上で、安定供給性、環境適合性、経済

効率性の更なる高度化に向け、より機動的・総合的な転換を進めていくことが必要とされています。

このような状況下、当社グループは、各地域の特性を一段と活かした効率的なエネルギーサプライチェーンを構築し、より機動的・主体性をもった営業戦略の展開と、地域における生活サービス拠点の一体化を主な目的として、2018年10月、株式会社ミツウロコの卸売事業を株式会社ミツウロコヴェッセルおよび同子会社に分割し、各地域の卸売・小売組織を統合した組織体制を構築しました。また、物流事業の最適化と統合的な管理を目的に、関東・東北・中部・関西の各地域に分散している経営管理・物流管理機能を、新たに設立した中間持株会社である株式会社ロジトライホールディングスに集約し、機能の再構築を図り、業務の合理化および質の向上に取り組みました。これにより、地域に根差したグループの総合力を活かし、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行い、顧客満足度を高め、安全で安心なサービスの

拡充と効率的な配送インフラの構築に努めてまいります。

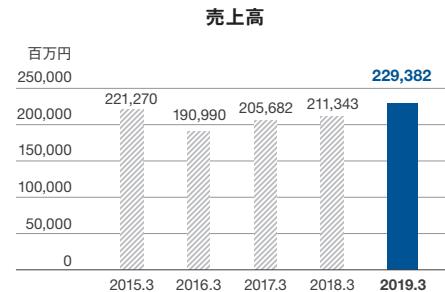
電力事業の拡大や前期に行った株式会社スイートスタイルの全株式の譲り受け等により、当期売上高は前期比8.5%増の2,293億82百万円となる一方で、燃料価格の上昇による売上原価の増加に伴い、エネルギー事業の利益が減少したことから、営業利益は前期比8.2%減の36億29百万円、経常利益は前期比7.4%減の45億7百万円となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10.9%増の32億31百万円となりました。

当社グループは、経営環境の変化に適応し、企業の持続性と持続的な企業価値の向上を図り、お客様に新たな価値を提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 グループ CEO
田島 晃平

業績ハイライト



事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービスを中心に豊かなくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フード&プロビジョンズ事業」、「PM/健康・スポーツ事業」、事務機器などのリースや保険の取り扱いを行う「その他事業」を展開しております。

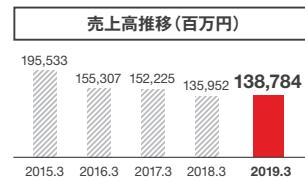


エネルギー事業

営業利益 **28億68百万円**
前期比 14.7%減

当期のポイント

- 消費者の選択志向の強まりや、燃料価格の上昇による影響を受け、営業利益は前期比減少。
- 天候不順、夏場の猛暑、暖冬の影響等により、小売販売数量が減少。
- 燃料価格の上昇に伴う売上原価の増加が、収益を圧迫。

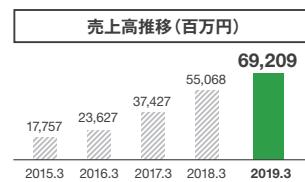


電力事業

営業利益 **10億47百万円**
前期比 14.7%増

当期のポイント

- 小売電気事業については、ミツウロコグリーンエネルギー(株)が東北支店を開設するなど、営業基盤の裾野を広げ、法人・一般家庭向けの販売拡大に努める。
- 電力販売量は堅調に伸長し、売上高、営業利益ともに前期比増加。

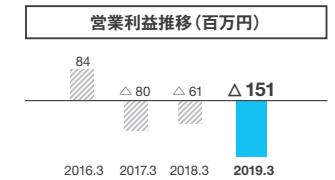


フード&プロビジョンズ事業

営業損失 **1億51百万円**
前期比 90百万円減

当期のポイント

- 飲料水事業の販路拡大、「麻布十番モンタポー」「カールスジュニア」の新規出店に伴い、売上高は前期比増加。
- 営業利益はのれんの償却による影響等もあり、赤字幅が前期比拡大。

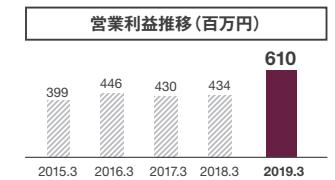


PM/健康・スポーツ事業

営業利益 **6億10百万円**
前期比 40.5%増

当期のポイント

- PM事業では、リノベーション等の施策による入居率向上と2017年11月に竣工した「ラベユ麻布十番」が収益寄与。
- 健康・スポーツ事業では、各種キャンペーンの開催やおもてなし品質向上に努めたことにより、売上高、営業利益ともに増加。

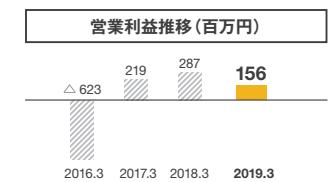


その他事業

営業利益 **1億56百万円**
前期比 45.6%減

当期のポイント

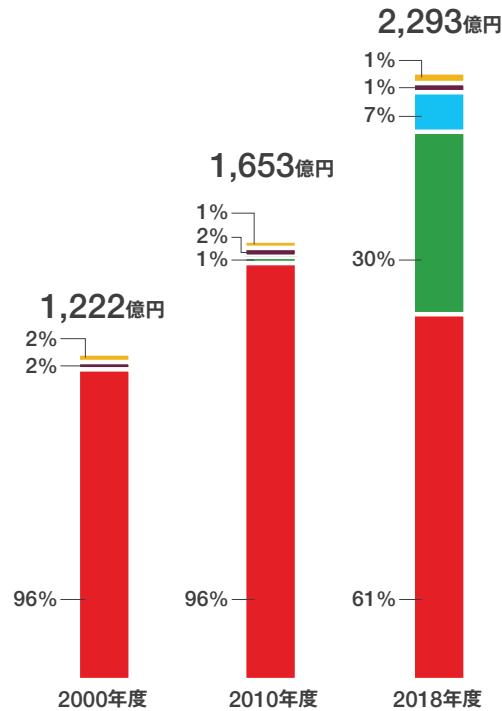
- 前期に計上した貸倒引当金戻入益161百万円の反動により、営業利益は前期比減少。



ミツウロコグループは、社会やお客様ニーズの変化を感じ取り、常に将来を見据え自らも変わりながら持続的に成長をしています。

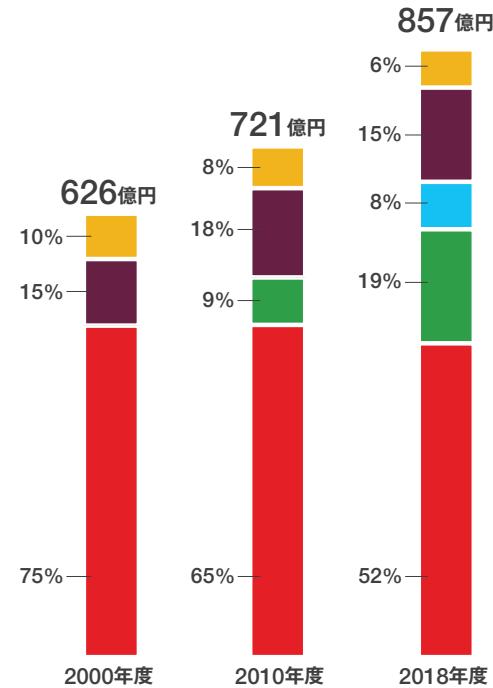
売上高の推移

■エネルギー事業 ■電力事業 ■フード&プロビジョンズ事業
■PM/健康・スポーツ事業 ■その他事業



セグメント資産の推移

■エネルギー事業 ■電力事業 ■フード&プロビジョンズ事業
■PM/健康・スポーツ事業 ■その他事業



事業ポートフォリオの状況

- 当社グループを取り巻く経営環境の変化に応じ、事業再編やM&A、業界の枠組みを超えた連携など、より機動的・総合的に事業ポートフォリオを進化させ、AIやIoT、RPA (Robotic Process Automation) といった先端技術を活用し、効率化、生産性向上への取り組みを着実に進めています。
- 今後は、グローバル展開を視野に、国際化に対応した体制や人材育成、人脈の構築を推進し、ミツウロコグループ独自の強みを活かせる領域への展開を図り、更なる成長を続けてまいります。

エネルギー事業のサービスが広がっています

都市ガス事業サービスを開始

当社連結子会社である株式会社ミツウロコヴェッセルは東京電力エナジーパートナー株式会社と都市ガス事業サービスにおける取次契約を締結し、取次事業者として2019年4月から都市ガス事業サービスの提供を開始いたしました。

主力商材であるLPガス・ミツウロコでんき・石油製品・ミツウロコ光・住宅設備機器に都市ガス事業サービスを加え、これまで以上にお客様から喜んでいただける新しい魅力あるサービスを提供してまいります。



安心見守りサービス「ミツ・メル」神奈川県下の公立小学校9校導入

株式会社ミツウロコヴェッセルは、2019年4月から、安心見守りサービス「ミツ・メル」を神奈川県下の公立小学校9校に導入を進めております。また、登下校に加えてお子様の帰宅の状況も把握したい保護者の皆様のニーズに応えるためNTTレゾナント株式会社が提供するIoTサービス「goo of things」と連携し「ミツ・メル ただいま[※]」の機能を拡充いたしました。

※「ミツ・メル ただいま」とは、「goo of things」のアプリと連携し、ホームハブ、帰宅タグにより、お子様の帰宅、在宅、外出時の通知や、家族間でのチャットが可能となります。

「ミツ・メル」の仕組み



ミツウロコグループでは、これからもお客様から喜んでいただける新しい魅力あるサービスを提供してまいります

特集1 ミツウロコグループの健康経営



ミツウロコグループでは、人材こそ最大の資産であるという考えのもと、成長の源泉である従業員の健康管理を重要な経営課題としてとらえています。

ミツウロコグループヘルスケア宣言

「わたしたちミツウロコグループは、心身ともに健康で明るい生活をおくるため、従業員一人ひとりが健康づくりに取り組み、元気ではつらつと働くことができる職場の実現を目指します」

企業の成長力の源泉である従業員の健康増進に対する施策を支援し、従業員一人ひとりの健康意識を醸成します。推進にあたっては、以下の目標を定め実現を目指します。

- 健康診断の100%受診と、有所見者に対するフォローにより、生活習慣病などの重症化予防と健康増進をサポートします。
- 良質なコミュニケーションの推進により、チームの中で互いに協力し高め合う活気ある職場づくりに取り組みます。
- メンタルヘルスに対する意識・知識を高め理解を進めることにより、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たせるようにします。
- 事業者と従業員が互いに知恵を持ち寄って有給休暇取得率の向上をはかり「ワーク・ライフ・バランス」の調和したより良い職場環境を整備します。

「人生100年時代」のミツウロコグループ

厚生労働省によると、2017年の日本の平均寿命は過去最高を更新。男性の4人に1人、女性の2人に1人が90歳以上まで生きる「人生100年時代」です。一方で定年を迎える人達が増え、労働力の中核ともいえる生産年齢人口(15歳～64歳)は1995年をピークに毎年約50万人ずつ減少しています。

健康寿命の延伸により、経済活動への参加も含め、セカンドライフの充実が見込まれます。ミツウロコグループがこの先目指すのは、一人ひとりが多様な価値を認め合う、健康で生き生きとした自律的な集団です。変わることを恐れず、進化しつづける企業風土を大切に、従業員と共に成長し、「豊かなくらしのにないて」として、これからも社会に貢献していきます。



健康保険組合 保健師インタビュー

「健康経営」をサポートしています!

Q 保健師とは何か?

保健師は「社会を看護する仕事」といわれることもあります。看護師の仕事が個々の病気やケガの治療を目的としたものであるのに対し、保健師の仕事は「個人+集団」のあらゆる健康問題が対象となります。健康問題の課題や背景にある原因を見つけ出し、予防策や解決策を図ること、また健康的な風土づくりなどに取り組みます。

ミツウロコ健康保険組合では、主に保健事業に関する仕事を行っています。健康診断や重症化予防などの病気を未然に防ぐ、「予防」に関することがメインですが、「健康経営」にも企業の健康的な風土を推進していく活動の一環として関わらせていただいています。



ミツウロコ健康保険組合
保健師 菅野 真由子

Q 保健師を目指した理由は?

以前は病院で看護師をしていました。病院では入院中の短期間しか患者に関わることはできません。しかし、その方には入院中以外の社会での長い人生があり、普段の生活の中での病気の予防や治療後のフォローも大切で、そこに携わる仕事をしたいと思いました。とくに産業保健に興味をもったのは、人生の中の長い時間を過ごす企業における健康管理が重要だと思ったのと、「健康」という視点から企業の生産性に貢献する「健康経営」という視点が面白いと思ったからです。

Q 「健康経営」に関する取り組みは?

健康経営の意義は、「健康を自己責任とせず、組織としてサポートすることで、みんなが健康で生き生き働くことができ、会社の生産性も向上する」というところにあります。社員の健康がすべての土台なので、健康に関する情報を提供したり、ご自身の健康状態について知ってもらったり、知らぬ間に病気が進行して取り返しがつかない事態にならないようにサポートしたりすることが重要だと思います。そのため、ミツウロコグループとのコラボヘルスで二次検査の受診勧奨や受動喫煙対策のフォロー、重症化予防・両立支援などに取り組み始めています。健康意識が高く、元気で生き活きた社員が増え、結果的に企業の生産性にもプラスになり、さらに社員のやる気も向上!!という好循環が生まれる会社になるよう、私もサポートしていきます。



特集2

ミツウロコグループのフード事業

熱く真摯においしさを追求

“おいしいパンは人を幸せにします”

株式会社スイートスタイル
モンタポー営業企画部 商品開発担当課長
井上聡士

商品開発/販促担当係長
栄養士/食生活アドバイザー
石原佳奈



1店舗で粉からパンを製造、販売までを各店舗で行う「オールスクラッチ方式」を採用

「麻布十番に本店を構える我々のパンは各店舗で毎日粉から作っているので、小麦粉の甘味や旨味がしっかり感じられて、本当においしいんです」と商品開発チームの井上聡士と石原佳奈は胸を張ります。

全国でチェーン展開するベーカリーのなかでも、麻布十番モンタポーのようにパン作りのすべての工程を店舗で行う「オールスクラッチ方式」を採用しているところはきわめて少数派。管理の難しさや品質の安定性、効率などを考えれば、そう簡単にこの方法を採用するわけにはいかないのです。

「それでもウチがオールスクラッチ方式にこだわるのは、そのほうがおいしいからです。それに、粉から作るからこそ、ちょっとした気候の変化や地域ごとに異なる嗜好などに合わせて微

調整することも可能なんです」(井上)

そのこだわりを下支えしているのが、店舗で働くほぼ全員が「パンを焼くことができる」という事実。

「ですから、直前にさらにおいしくするためや、安定するためにレシピを変えても、全店、対応できるんです」と井上は話します。

看板商品の「北海道牛乳パン」に「サフジュ」がプラス 女性目線の新商品も加わり、ラインナップも幅広く

麻布十番モンタポーのベストセラーといえば、1996年に誕生した「北海道牛乳パン」。しかし2014年10月、そんな北海道牛乳パンの座をおびやかす新商品が誕生しました。その名も「サフジュ」。

「ちょうど塩パンブームが始まった頃で、ウチなら間違いなく

もう一つ上の塩パンができると思いました。ただ、他店と同じような塩パンは作りたくない。そこで考えたのが、「サクッ・フワッ・ジュワ」の3つの食感が楽しめる食事パンでした。5年経った今でも、販売個数ではトップです」(井上)

昨年の冬には、雪だるまの「ゆきこ」も誕生。

「雪だるまの『ゆきたろう』というキャラクターパンは以前からあったのですが、『男の子だけじゃかわいそうだから、女の子もつくりましょうよ』と井上さんに提案して、実現しました。とくにインスタグラム等のSNSでも女性には評判がよかったです」と石原が話せば、井上も「私は男ですからがつり系のものを作りがちなのですが、石原さんが来てからは女性目線が加わって、見た目のかわいらしさやソフトな味わいなど、ラインナップの幅も広がりました」。チームワークも万全です。

新たなチャレンジも楽しみながらどん欲に「人を幸せにするパン」を目指す

ミツウロコグループに入って、新たな挑戦も増えました。

「組織が大きくなれば、私たちがやれることも大きくなります。それはありがたいことだと思っています」(井上)

企業のキャラクターをパンにして限定販売したり、グループ

企業の賀詞交歓会へ企業の名入りパンを提供したり、このGWからは女子プロゴルファーの川崎志穂プロとのコラボが決まり、第一弾としてメロンパンとカレーパンを作りました。

「アスリートとのコラボなので、今後は体づくりや健康なども意識した商品を作っていきたいいな、と思っています」(石原)

麻布十番モンタポーの合い言葉は、「おいしいパンは人を幸せにします」です。

「私は『この言葉、いいな』と思って、スイートスタイルに入りたいと思いました。この言葉には、言葉通りの意味のほかにも、大きな1個のパンをみんなでシェアする楽しさ、分かち合う喜びがあふれているように感じるんです。これからも、そんなパンを作っていきたいと思っています。そして、将来は海外の方たちにも食べてもらえたらいいな、と思っています」(石原)

「ミツウロコグループの一員になって、最先端の技術や新しい知識を学べる機会が増えました。守れるものは守っていきながら、新しい技術や知識を受け入れる柔軟性も忘れず、『モンタポーといえばコレだね』といわれる商品を開発していきたいと考えています」(井上)

おいしさにどん欲。モンタポーのパンには、そんな職人魂が宿っています。



Mont Thabor
麻布十番モンタポー

麻布十番モンタポーはパン作りのすべての工程を店舗で行う「オールスクラッチ方式」にこだわり続けています。熟練の職人が毎日手作りにて、心を込めたパンを作り、「日本の食に合った日本らしい優しい手作りパン」を全国約80店舗にて発売しております。



ゆきたろう

ゆきこ

北海道牛乳パン

サフジュ

麻布十番本店 | 住所 東京都港区麻布十番2-3-3 電話 03-3455-7296 営業時間 8:00~21:00

会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	10名／連結：1,550名（2019年3月31日現在）

役員		(2019年6月21日現在)	
代表取締役社長	グループCEO	田島晃平	
取締役		二見 敦	
取締役		児島和洋	
取締役		坂西 学	
取締役		川上 順	
取締役		大森基靖	
取締役	グループCTO、グループCIO	ゴ ウィミン	
取締役（社外）		柳澤勝久	
取締役（社外）		松井 香	
監査等委員である取締役（社外）		山田勝重	
監査等委員である取締役		田島 謙	
監査等委員である取締役（社外）		菅原英雄	

株式の状況		(2019年3月31日現在)	
発行可能株式総数		197,735,000株	
発行済株式の総数		62,332,388株	
株主数		4,157名	

上位株主				(2019年3月31日現在)	
株主名		持株数(株)		持株比率(%)	
明治安田生命保険相互会社		5,544,000		8.89	
JXTGホールディングス株式会社		5,064,040		8.12	
田島株式会社		4,327,000		6.94	
損害保険ジャパン日本興亜株式会社		3,681,173		5.91	
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口		3,112,300		4.99	
リンナイ株式会社		2,682,464		4.30	
橋本産業株式会社		2,032,900		3.26	
全国ミツウロコ会持株会		1,963,184		3.15	
株式会社パロマ		1,685,124		2.70	
株式会社三井住友銀行		1,676,331		2.69	

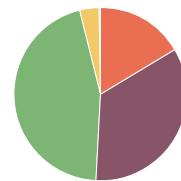
(注) 1. 当社は自己株式を59株（株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式290,900株を除く）保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式からは除外しております（当連結会計年度末290,900株）。

分布状況

(2019年3月31日現在)

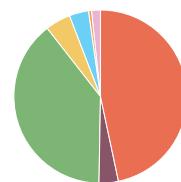
所有者別の株式分布状況

①個人・その他	10,379,474株	16.65%
②金融機関	21,473,704株	34.45%
③その他国内法人	28,104,421株	45.09%
④外国法人等	2,237,746株	3.59%
⑤金融商品取引業者	136,984株	0.22%
⑥自己名義株式	59株	0.00%



所有株数別の株主分布状況

①～499株	1,941名	46.70%
②500～999株	159名	3.82%
③1,000～4,999株	1,619名	38.96%
④5,000～9,999株	195名	4.69%
⑤10,000～49,999株	160名	3.85%
⑥50,000～99,999株	19名	0.46%
⑦100,000株～	63名	1.52%



※自己株式を除いて算出しております。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（http://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）

住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店、みずほ銀行	本店及び全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。